

# 平成26年度 指定管理者評価結果

所管課 教育委員会 社会教育文化課

## 1 施設の概要等

施設名	岐阜県先端科学技術体験センター
施設所在地	瑞浪市明世町戸狩54
指定管理者 (共同体構成員)	トータルメディア・中電興業サイエンスワールド運営グループ (株式会社トータルメディア開発研究所・中電興業株式会社)
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
主な施設	レクチャーラボ、サイエンスラボ、スペシャルラボ、サイエンス工房、 科学図書館、研究室・準備室、工房、事務室・館長室、駐車場

## 2 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業へ興味を持ってもらえるようなメニューを開発してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業と連携した、当センター独自のプログラムを実施。</li> <li>・チャレンジワークショップ「LEDランプシェード～美濃和紙あんどんづくり～」 (県内産和紙を用いたランプシェードを製作するワークショップ)</li> <li>・チャレンジワークショップ「ウルトラバイオレット」 (瑞浪市で生産された陶磁器の箸置きを使用した工作系ワークショップ)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前児童を対象とした講座など、年齢層ごとに幅広く講座が設定されていると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児、高齢者の方の利用が増加しており、低年齢層向けの体験プログラムや安心して遊べる空間の設置(低年齢層向け知育遊具「カプラ」コーナーを設置)、また、高齢者等の成人団体対応など、世代に合わせた対応を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は、子供だけでなく、親の理科離れも顕著であるため、もっと学校へPRすれば、子供だけでなく親も利用するのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校団体利用促進のため、教育委員会と連携し、教育委員会行事(小中学校理科教育研究会など)を活用し、施設のPRを実施することや県内の小学校、中学校、特別支援学校を対象に、出前をして科学実験や工作を行う出張ワークショップを開始。</li> <li>・子供が学校での体験を家庭で話すことにより子供だけでなく、家族等へのPRも実施できたのではないかと考えている。</li> </ul>

<p>・日々の生活で身近にあるもののしくみを科学的に紹介するような実験等「身近な科学」をテーマにした企画が増えると良い。</p>	<p>・チャレンジワークショップにおいて、「身近な科学」を学ぶため、携帯電話等で使用されている偏芯モーターを利用した「へんしんモーターぶるぶるロボット」や、砂糖を題材に扱った「あまーい理科実験」などのプログラムを実施。</p>
--	---

### 3 平成26年度評価結果

<p>評価員会議 の評価・意見</p>	<p><b>【評価結果】</b></p>			
		項目	平均点	評価
	1	管理基準の充足状況	17.7点	良
	2	設置目的の達成状況	18.8点	優
	3	公共性の確保の状況	17.8点	良
	4	経営状況	17.0点	良
	5	派生的効果	19.0点	優
	6	総合評価	20.0点	優
	<p>(評価方法：4名の評価員による優(20点)・良(16点)・可(10点)・不可(0点)の4段階評価)</p>			
	<p><b>【評価についての意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとってまずは安全、安心感のある施設であることは最も重要。今後もこれまでと同様、十分な配慮が望ましい。</li> <li>・新しいプログラム開発に努力しており、利用者数が伸びている。</li> <li>・広報、館内の掲示等、施設の雰囲気明るくなっている。</li> <li>・県外からの来館者も多く、県、瑞浪市のイメージアップにつながっている。</li> </ul>			
<p>県の評価</p>	<p>・協定書に定めるサービスの水準を上回る管理、運営がされており、その成果が認められる。</p>			